



ほむる

建設的な生き方へのお手伝い (Just do it !)
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
 【今月の一冊】『略奪大国』
 ジェームス・スキナー 著 フォレスト出版
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/prime21/>

発行日 2012年4月1日 Vol.114
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 代表取締役 渡邊敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

思考の出発点

新しい年度がスタートしました。卒業、進学、就職と環境が大きく変わるとともに、ひとつの区切りが気持ちリセットしてくれる良いチャンスの時期でもあります。

いろんなことにチャレンジしていく過程の中で、物事を決定していく“思考”に注目してみました。ロンドンオリンピックも近づきましたが、水泳の選手が集まる中で、次の質問がされました。

「人間とイルカはどちらが速い?」。選手たちは当たり前のように「イルカ」と答えます。ではその理由を聞いてみます。ある選手は、「水中で生活しているのだから、イルカに当然アドバンテージがある」と言うので、それなら金魚にも負けることになってしまうので、その見解を却下しました。

またある選手は、「イルカのほうが身体が大きいから」と言うので、なるほどと思いますが、象とチーターが競争したら身体が大きい象が勝つという理論になりかねないので、この見解も却下しました。

ここで考えられるのが、多くの人は明確な理由がないにもかかわらず、何となく結論を出してしまっていることに気がつきます。つまり、先に「負ける」と決めた人の結果は、それを再現するものにしかありません。

しかし、先に「勝つ」と考える人は、どうすれば勝てるかというところからスタートします。そして、「人間にできることは何か」、「イルカにできないことは何か」を考えます。

最初の質問は「人間とイルカはどちらが速い?」と聞いただけなので、「身体ひとつで泳げ」というようなルールはありません。私たちは日頃から、自分自身の勝手な解釈で可能性を狭めていることが多いのではないのでしょうか。結果が出る前に手頃な結果に飛びつくことは、考える前に考えることをやめたり、行動する前に考えることをやめたりすることに通じます。

まずは「やってみなければわからない」という思考の出発点が重要なのだと痛感します。どんなことがあっても可能性を探る癖を身につけていければ、もっともっと成長していけるのではないのでしょうか。いろんなピンチを克服して頑張っていきましょう!



ホームページをリニューアルしました! <http://www15.ocn.ne.jp/prime21/>

ベルフォア ジャパン

先日、損害保険の仕事の関係で、火災、爆発、地震、台風、豪雨、化学物質の流出など災害や事故で被害を受けた機械、設備、工場、社屋等の早期復旧のスペシャリスト集団で、世界各国に170拠点もある会社「BELFOR JAPAN」(ベルフォア ジャパン)の視察に行ってきました。

昨年の東日本大震災でも活躍したのですが、災害に伴う操業停止の損害を最小限度にとどめ、本格的な復旧のお手伝いをして営業再開の期間を短縮しています。

これまでも、自動車部品工場火災において、新調達による復旧が6ヶ月かかるとされたものを、設備交換を要せず、全装置を完全復旧し操業停止期間を1ヶ月間にしました。また、食品工場水災では、工場全体が1m浸水し、全機械設備、電気・電子制御装置を含む2台のラインの汚染除去を実施し、新調達に12ヶ月かかるとされたものを、操業停止期間を1ヶ月間の短縮に成功しました。

ベルフォアが復旧に成功した機器には、コンピューターおよびサーバー、通信機器、受配電設備、航空および衛星の制御装置などたくさんあります。日本の常識では、災害等にあったものはすべて新品に交換するという考え方がありますが、海外では使えるものは直して使うという考え方が主流です。

今回の視察には、「危機を救う新技術」と題して「ガイアの夜明け」が取材に来ていました。テレビ番組の中で私も登場するかもしれません・・・。



【座右の銘にしたい名言】



私は1日たりとも、いわゆる労働などしたことがない。
 何をやっても楽しくてたまらないから。トーマス・エジソン(発明家)